

広報

くしま

10

No.1016
毎月2回1日・15日発行
October 2016



大東地区・広野 もぐらもち

特集①

百光年の輝き

特集②

故郷への思い、末永く 在京串間会

百光年の輝き

長寿祝い
金支給事業
100光年の輝き

100歳の笑顔は
ひときわ輝いています。



9月19日は「敬老の日」。国民は「多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う」と記されています。長年にわたり、社会のためにつくされた高齢者を敬い、長寿を祝うとともに、高齢者の福祉について関心を深め、高齢者の生活の向上を図ろうという気持ちが込められています。

市では「敬老の日」を前に、本年度末までに88歳、100歳になられる方と最高齢の方を対象に長寿祝い金を贈呈しました。

対象者は、88歳が194人、そして100歳を迎える方は、山内キクさん、中野キヨさん、前田ヨシさん、西村ミエさん、清水アグリさん、鈴木喜世さん、村上チヨさん、神戸アヤ子さん、清谷

藤一さん、綱尾ユキノさん、吉本盛英さん、山下ヒサヨさんの12人です。市内最高齢は108歳の岩本チヤコさん（県内では3番目）です。

9月6日、8日には最高齢者と

100歳到達者の皆さんを市長、副市長が訪問し、長寿祝い金と花束を手渡しました（市長、副市長訪問の対象者については100歳到達者、最高齢者の希望者となつております）。

それぞれの訪問先で、市長や副市長が「ご長寿おめでとうござい

ます。いつまでもお元気でいてくださいね」と声をかけると「ありがとうございます」と、とてもすてきな笑顔で応える場面も見られました。

百年という長い人生をたくましく生きてこられた皆さん。皆さん

の歩んでこられたその人生に敬意と感謝を込めて、ご長寿をお祝いいたします。



皆さんがあげた百年の人生に敬意と感謝を込めて

清水アグリさん



清谷 藤一さん



村上 チヨさん



神戸アヤ子さん



前田 ヨシさん



西村 ミエさん



在

京串間会（木島博会長）は、首都圏近郊に在住する本市出身者や本市に縁のある方同士の親睦を図り、郷土串間の発展に貢献することを目的とし、昭和42年に発足しました。

それから約半世紀。在京串間会の49回目の総会・懇親会が9月3日に、東京都墨田区の東武ホテルレバント東京で開催され、

約160人が参加しました。

木島会長が「ふるさと串間を思い出しながら、ゆっくり楽しんでください」とあいさつ。佐藤強一副市長が東九州自動車道「日南→串間→志布志」間の一部区間の事業化決定や都井岬再興、中学校再編など串間市の現状を報告しました。また、本市が新たに新設した『くしまPR大使』を木島博会長に委嘱。委

嘱状が副市長から木島会長に手渡されました。

串間市からは、ふるさと納税などへのPRを兼ね、全国和牛能力共進会で史上初の2連覇を果たした串間産「宮崎牛」と、松露酒造・寿海酒造・幸藏酒造の3蔵元で洗練された焼酎の振舞いも。参加者は杯を酌み交わしながら、近況や故郷のことを語り合い親交を深めていました。



在京串間会
木島 博会長
(福島地区出身)

在京串間会

故郷への思い、末永く



串間を元気に

在京串間会は、昭和42年に串間から出てきた18歳から25歳の東京に住んでいる人たちで集まつたらどうかということで設立しました。それから年々参加者も増え、おかげさまで来年は50周年を迎えます。特別記念として盛大に開催したいと考えています。

串間市は故郷創生に向け、いろいろなことに取り組んでいます。若い人たちが中心になって串間駅前に路面電車を用いた観光案内所などの企画をされたり、元気が出てきました。これから人口減少が続くと予想されていますが、串間での就職活動の活性化や都会からのUTAーン促進など都会にいる私たちも協力しなければならないと思っています。ただ、串間が活性化するには、やっぱりそこに住む人たちが頑張らないといけません。串間から知恵を出して、努力をして、故郷創生になげて欲しいと思います。



くしまPR大使を新設

串間市では、当市の魅力を市内外に広くPRし、市のイメージアップおよび観光振興を図るために『くしまPR大使』の制度を新たに設置しました。

委嘱対象者は、本市在住者もしくは出身者、または本市にゆかりのある者で任期は2年間です。

9月3日在京串間会の木島博会長に『くしまPR大使』を委嘱しました。今年度は、シンガーソングライターのいであやかさんやビーチバレー選手の坂口佳穂さんなどへの委嘱を予定しています。



郷土愛でつながる在京串間会。首都圏在住の串間市出身者が集まり、総会が開催されました。

地元のつながり大事

東京でも北方会や串間会、福島高校会など同窓会を開いてみんなで集まります。そのたびに地元のつながりは大事だなって感じます。串間の話題では、中学校が統合すると聞いて気になります。うまくいくといいですね。



北方地区出身
間庭 春美さん

仲間に会うの楽しみ

串間を離れていても我々のふるさとだから思いはあります。串間に帰ると仲間に会えるのでいつも楽しみにしています。今年は古希を迎え、同窓会が開かれます。閉校前の中学校に集まってみんなで昔を懐かしいみたいですね。



大東地区出身
吉田 利人さん

串間は自慢の故郷

時々串間に帰省しますが、道がきれいになったりして良い方に変わっているような気がします。都会にいるとすごく串間の良さを感じます。串間は自慢の故郷。少しでも力になれるよう東京から応援していきたいですね。



福島地区出身
杉原 トシエさん

足元にあるもの磨いて

本気で地域おこしに取り組んでもらいたい。地方創生を成功させるためには、自分の足元にあるものを磨いて頑張っていく必要があると思います。串間への地元愛があるからこそもっともっと活性化してほしいですね。



本城地区出身
渡邊 弘美さん

串間いいトコ！

串間は本当にいいトコ。たまに串間へ帰省すると都会では感じられない人の温かさを感じることができ、帰るたびに串間の良さを再確認しています。今日は、串間の焼酎がおいしくて、久しぶりに同級生とも会えたのでよかったです。



市木地区出身
片山 あや子さん

串間魂で盛り上げて

昔は新婚旅行といえば都井岬。都井岬のような自然が楽しめるような場所を大事にして、観光で人が呼べるような街づくりをしてほしいですね。私たちも関東で頑張っていますので、串間の皆さんも串間魂で盛り上げてほしいです。



都井地区出身
大迫 友行さん

昔ながらの味わい

トウキビ



一般に食用として用いられるスイートコーンに出べると、実が固くもっちりとした食感で、どこか昔を感じさせる味が特徴のトウキビ。北方地区の初田、田渕、谷ノ口の農家で作る集落富農組織「みのさき地区農用地利用改善団体」は今年3月、視察研修で熊本県南阿蘇村へ行ったときに見かけた昔ながらのトウキビに田をつけ、トウキビ作りを開始しました。

阿蘇でもらってきた黄、赤、黒、白の4種類の種を4月に蒔いてハウスで育苗し、5月末に移植。8月末に収穫を行いました。

見た目がカラフルなこともあります。インテリア用として使われることもあるそうです。食べ方については、茹でたり、ご飯に混ぜたりして食べるのが一般的だそうですが、よりおいしく食べるためには、これから研究していく必要があるとのこと。

同団体は、平成21年から古代米

と呼ばれる黒米を作つており、組合長の水谷和義さんは「古代米とセツトで食べて、懐かしさを味わってほしい」と話します。昔ながらのものにスポットを当て、地域の農業を盛り上げようとして、活動する団体の皆さん。「みのさき地区で新しいことに挑戦して、少しでも地域活性化ができればいいね」と話してくれました。

懐かしい味のトウキビ。年配の方には懐かしく、この味を知らない世代には新鮮に感じるのではないかでしょうか。



みのさき地区農用地利用改善団体の皆さん
集落の農業が抱えるさまざまな課題を解決するための活動を展開しています。

ガーゼ素材で作るハンドメイド小物

ふんわりさらさら肌触り

柔らかくてふわふわした肌触りのガーゼ。このガーゼ素材を使い、手作りでハンカチやタオルなどすてきな小物を作るのは市木地区・舳にお住まいの山下有里さん。

作り始めたのは約3年前。子どもがアトピー体質で肌が弱く、肌にやさしい小物を作れないかと材料を探していたところ、ガーゼがあることを知ったのがきっかけでした。

山下さんが使うのは綿100%の6重ガーゼ。6層のガーゼが重なり、重ねられた空気の層によりふんわりします。また、通気性も良く、汗をよく吸い取る吸湿性や、こもった湿気を逃がす放湿性が抜群なので、夏は涼しく冬は暖かいのが特徴です。

ガーゼは洗うと「縮む」という性質があるため、材料を購入してまづやることは水洗い。手で押し

洗いをし、太陽の下でふわふわに乾かしてから裁断、縫製にとりかかります。

もともと小物作りが好きだといふ山下さんは、「雑貨屋さんでいろいろ見て回ったり、生地を探すのも楽しみの一つ」と話します。作る小物は雑貨屋さんの商品を見て参考にすることも多いとか。

時間の合間を見つけては小物作りに励む山下さん。「ガーゼ素材のものを使つたら手放せなくなるというくらいに使い心地抜群。特に肌触り抜群のガーゼ。暮らしの中に取り入れてみませんか。



山下さん手作りの小物。タグもオリジナルです。

まちの話題

My town topics

市内の話題や出来事などを写真を交えて紹介します。

1 実験で科学の楽しさ実感

8月26日、中央公民館で宮崎大学工学部の「科学祭りin串間2016」が開催されました。本市と宮崎大学が包括的連携協定を結んでいることから3年連続の開催。小学生約40名が参加し、バルーンストライムや万華鏡作りなど、4種類の物づくりを体験しました。参加者たちは、宮崎大学工学部のスタッフからアドバイスを受けながら制作し、科学を身近に感じながら、物づくりの楽しさや面白さを感じていました。



2 晩夏の夜空に炎のアーチ

8月26、27日の2日間、都井岬旧岬の駅前広場で「第50回都井岬火まつり」がありました。岬が闇に包まれた午後8時、大蛇退治を再現する「柱松」がスタート。観客の「トントコトツテ」とうとう仕留めた、「衛徳坊」の掛け声に合わせて、宮原柱松保存会の勢子たちが高さ30メートルの柱にいまつを投げ上げ、炎のアーチが夜空に描かれました。見事命中し、花火が上がるときな歓声と拍手が送られていました。



3 廉油で手作りキャンドル

9月10日、17日、24日、中央公民館で10月9日に開催される『キャンドルナイトinくしま』で使用する廉油キャンドル作りが行われ、同実行委員会や一般の方々が参加しました。作り方は、家庭から出た廃油に油凝固剤を入れて熱し、それを半分に割った卵の殻に流し込みます。固まったら、ひもに口吻を絡めた芯を刺して完成です。イベントまでに約3,000個を準備する予定。ぜひイベントにお遊びください。



4 十五夜恒例のもぐらもち

9月17日、大東地区・広野で無病息災と五穀豊穣を願う十五夜の伝統行事「もぐらもち」がありました。地元若手が扮した、みの姿の「めごすり」と呼ばれる鬼が子どもたちを引き連れ、家々を急襲。無理やり抱きかかえられた子どもが大声で泣き叫び、大人は金や酒を強要されたりと大騒ぎ。住民たちは、この日に合わせて帰省した出身者や知人とごちそうを囲んで焼酎を酌み交わし、無礼講の夜を楽しんでいました。



5 いせえび祭りに長蛇の列

9月18日、9月1日から漁が解禁された伊勢エビを味わってもらおうと毎年恒例の「いせえび祭り」(串間市漁協主催)が同漁協荷さばき所であります。伊勢エビの直売、みそ汁の振る舞いなどがあり、多くの来場者でにぎわいました。直売会では、1キロ5,500円と通常より安く、開場前から詰め掛けている市民らが次々に購入。また、先着250人にみそ汁の振る舞いもあり、おいしそうに味わっていました。



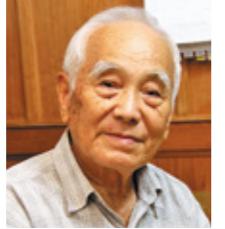
6 砂にまみれ41チーム熱戦

9月18日、今町浜特設コートで「第16回ビーチバレー大会inクシマ」(串間市青年団協議会主催)が開催されました。市内外から41チーム約250人の愛好者らが集結。試合は4人制で行われ、選手らは砂に足を取られながらも、仲間や家族連れなどの声援を受けて、豪快なスペイクや砂の上に思い切り飛び込んだ巧みなレシートを披露。互いに声を掛け合い、暑さとも戦いながら、最後まで勝利を目指していました。



救急の日に救命学ぶ

9月12日、救急の日の行事の一環として、北方小学校で串間市消防本部による救急救命教室が開催されました。救急隊による本番さながらの救急活動の実技訓練や救急車の見学を行い、参加した4年生10名は、メモを取りながら真剣な様子で話を聞いていました。



大東地区・広野
黒原 正宏さん
毎年楽しみに

毎年この日を楽しみにしています。地区にはあまり子どもがいませんが、もぐらもちの日はたくさん集まります。子どもたちの笑顔に元気をもらうことができますね。私が小さい頃からずっと続く行事。これからもこの伝統行事が続いてほしいです。



道路の環境美化で表彰

宮崎県道路愛護運動推進協議会の平成28年度総会が行われ、本市から東金谷自治会(立本伊佐男自治会長)と鹿谷自治会(内田敏典自治会長)が同協議会長表彰を受けました。この2団体は道路の清掃や除草作業など、日々の取り組みが評価されての受賞となりました。



志布志市在住
川上 真理子さん
比良 慶子さん
来年も来ます

毎年楽しみにしていて、朝4時半にきました。台風の影響を心配していましたが、開催されてよかったです。購入した伊勢えびは親戚に送ったり、家で待ってる旦那に食べさせたいと思います。みそ汁も伊勢えびが半分も入っていておいしかったです。

いい思い出に

日南学園女子バレーボール部のみんなで初めて参加しました。試合は敗者復活戦で負けましたが、接戦の試合が多く楽しめました。いつもプレーしている床と砂では感覚が違うので難しかったですが、いい思い出になりました。また来年も参加してみたいと思います。



有明小学校 2年生
竹下 璃呂さん
福島小学校 2年生
藤島 凛さん
実験たのしい

4種類の実験全部が楽しく、科学のことが好きになりました。スライムも大きく膨らませることができました。2年生なので、まだ理科の授業はありませんが、これから授業を受けるのが楽しみです。帰ったら今日作ったものを家族に見せてあげたいです。



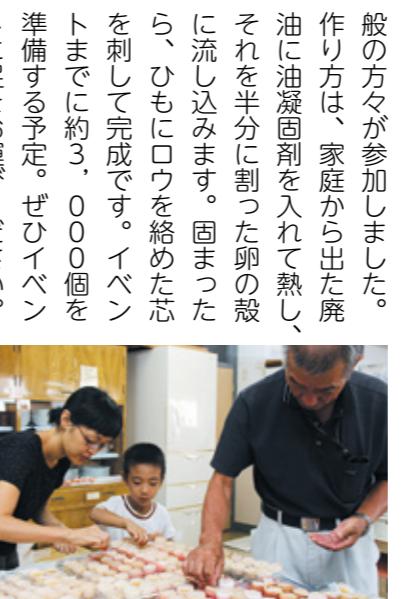
都井小学校 6年生
山本 梨乃さん
伝統守りたい

臼太鼓踊りで参加しました。地域の人たちと一緒に練習してきて、本番は緊張したけどうまくできました。臼太鼓を踊る人は少なくなっていますが、これからも地域の伝統を継承していきたいです。今年の火まつりは花火がとてもきれいでした。



千種保育所
田中 唯斗くん
また作りたい

油を卵の殻に入れたり、ひもを刺したり、とても楽しかったです。うまくできました。キャンドルナイトは、自分が作ったキャンドルを見に行きたいです。家に帰ったらお母さんと一緒にまた作ります。今度は色が付いたキャンドルを作りたいです。



、こんにちは！

福島高校

です！

魅力ある福島高校の取り組み

～自ら表現する学び～
福高生

いきさい
樹祭が開催されました



わたし
レポートします。

福島高校2年 生徒会長 ひらしまさや 平尾 真也さん

夏の終わりを告げるような涼しげな秋風が吹きつとも、まだちらほらと聞こえてくる蝉の声が夏の余韻を楽しませてくれる今日この頃、皆さんいかがお過ごしでしょうか。お久しごりです。生徒会長の平尾です。

先日、福島高校では樹祭が開催されました。体育の部は台風の影響で悪天候でしたが、各団団長、リーダーを筆頭に力強い闘いが繰り広げられました。中でも団対抗綱引きは勝つか負けるかの接戦でとても盛り上がりました。加えてクラス対抗リレーに団対抗リレー。皆の思いがバトンを通じて繋がっていく様子を放送席から見守っていた私は一瞬も

目が離せませんでした。午後からは体育館内で主に3年生の創作ダンスの発表、閉会式が行われました。息ぴったりのダンスにはストーリー性があるものもあり、とても面白かったです。

次に来たるは文化の部。初めに生徒会役員によるオープニングセレモニー。私を含めた8人の役員と旧役員の協力によりとても良いオープニングになりました。合唱コンクールは1年3組が最優秀賞となりましたが、どのクラスも気持ちの入った素晴らしい合唱でした。

福高生の想像力、表現力が發揮される劇、映画部門もレベルの高い発表になりました。特に3年生の劇は、今年が最後の樹祭ということもあります。演技もストーリーもとても面白かったです。役者担当さんも凄いですが、脚本担当の皆さんも凄いですよ。



文化の部

普段は見えないクラスの協調性を見ることのできる良い機会になりました。



体育の部

そして、文化部発表、英語暗唱弁論発表、個人発表。どれも面白いものがばかりでしたが、個人的には科学部の発表好きでしたね。内容はダニを用いた実験結果の報告だったのですが、いろいろとダニの可能性を感じました。

無事に樹祭を終えることができたのも福島高校のみんな、先生方、地域の皆さんのがあったからだと思っています。本当にありがとうございました。

話は変わりますが、今年の秋はどのように過ごされていますか？芸術の秋、食欲の秋、私は秋の全てを楽しみたいと思います。皆さんも体調などにお気をつけて秋をお楽しみください。

若年者のピロリ菌感染について

串間市民の皆さんこんにちは。以前も書かせていただきましたが、今回もピロリ菌の話題に触れたいと思います。

ご存じの方もいると思いますが、2013年2月より慢性胃炎（正確には、萎縮性胃炎と呼ばれます）に対するピロリ菌の除菌治療（ピロリ菌を消す治療）が保険対象となりました。ただし、まずは胃の内視鏡検査を受けて慢性胃炎があることを確認する必要があります。

以前は、自己負担で高額な検査や治療費を支払う必要があったため、保険が通つた以降、全国的にピロリ菌感染の検査や除菌治療件数が増えていると考えられ、当院でも外来や検診にて、以前と比べ除菌治療をさせていただく機会が増えています。保険が認められた背景には、ピロリ菌感染にて生ずる慢性胃炎に対する除菌治療の有効性が確認されたこと、さるに、ピロリ菌感染や胃炎が続くことによる胃がん発生の危険性が考慮されたことなどが挙げられます。もちろん、ピロリ菌感染や慢性胃炎があるから絶対に胃がんになるという訳ではありませんが、

一般に、ピロリ菌は体の抵抗力（免疫）がしっかりと完成していない幼少時に多くは感染すると考えられています。近年の

衛生環境の向上で若年者のピロリ菌感染率は下がっているとも言われています。

前述の通り、ピロリ菌が胃の中に感染してから胃炎が起つてくることを考えると、できるだけ若い時期に除菌治療を行つことで胃炎の進行を食い止め、胃がんなどの病気を予防する効果が強いと現在では考えられています。

ここからが今回の本題ですが、以上の理由で若い年代でのピロリ菌除菌治療の意義が重要視されるようになり、全国的にもまだ限られてはいますが、将来的な胃がん予防の目的で、ピロリ菌の専門医や小児科医、自治体の連携にて中学校や高校でのピロリ菌感染検査や除菌治療の試みがなされている地域が出てきています。学校検診という形で尿などでのピロリ菌感染の検査を行い、陽性であった生徒さんは除菌治療まで自治体が負担して無料で行つてもらっています。ただし、副作用の問題など除菌治療薬を若年者に安全に使用できるか、治療を行うとしたらどの年齢が適切かなど、専門家の間でもまだ議論がなされています。ただし、検査に限れば、中学生は義務教育であり、自治体が検査を行う場合は対象者をより漏れなく検査できる可能性が高いと思われます。

その充実は素晴らしい政策だと思います。さらに、来年度からは、市立串間中学校と県立福島高校が連携型中高一貫教育校になる予定ということがありました。

少子化が厳しくさまざまな問題がある昨今ですが、悲観するばかりではなく前向きに考えて、特に串間中には市内の大部分の生徒さんが進学されると思っていますので、これを機に全国の先駆けに遅れず、市内の中学生を対象としたピロリ菌検査をまずは導入し、いずれは、将来の宝である子どもさん達の健康維持の一助として、将来の胃がん予防（これを一次予防と呼びます）のために除菌治療も検討していくべきは良いのではとも思つております。

以上はあくまで私個人の考え方で、簡単に実現可能なものではありませんが、機会があれば、市の担当者様にお話だけでも聞いていただければ幸いとも考えております。

最後に、胃がんの全てがピロリ菌感染で起つるわけではなく、また、ピロリ菌が消えても胃がんの危険性がゼロになるわけではありません。普段の食生活や運動など生活習慣にも気をつけてしまつたとき、検診も定期的に受けられて、皆さんのが健やかにお過ごしただけるように願いながら、今回のお話を終わらせていただきます。最後まで読んでいただきありがとうございました。

串間市では、本年6月より小中学生の通院医療費の助成がスタートしており、

普段は見えないクラスの協調性を見ることのできる良い機会になりました。

そして、文化部発表、英語暗唱弁論発表、個人発表。どれも面白いものがばかりでしたが、個人的には科学部の発表好きでしたね。内容はダニを用いた実験結果の報告だったのですが、いろいろとダニの可能性を感じました。

無事に樹祭を終えることができたのも福島高校のみんな、先生方、地域の皆さんのがあったからだと思っています。本当にありがとうございました。

話は変わりますが、今年の秋はどのように過ごされていますか？芸術の秋、食欲の秋、私は秋の全てを楽しみたいと思います。皆さんも体調などにお気をつけて秋をお楽しみください。

くしまにあ

このページは読者の皆さんからの声にふれあう場です。いろいろな声をお寄せください。

故郷からの贈り物

●仙台市 なおっぺさん

ピンポーン。暑い屋下がり

串間のよかむん味だよりが、

東北の私の元へ届いた。電話

口でいつも『何か送るかい?』

と母が言うが、『何もいらん

よ』と言つてしまつ。

そんな私に、こつそり母が注文してくれた。早速、同封された広報くしまを隅から隅まで読んでみた。お母さんありがとうございます。私が書いたつんありがとう。私が書いたつて気付くかなあ。次に帰るまでも、秘密にしどこう。

故郷からの突然の贈り物。

お母様の優しさが串間のよかむん味だよりと共に届き、すてきなサプライズプレゼントになりましたね。よかむん味だよりで『故郷串間』を思い出したのではないでしょうか。

●福岡市 松本力オリさん

『向日葵の根強く咲くや絆かな』

広報くしま8月号に掲載されていた清水さんの隨想「家族の絆」を拝見して、

ふと向日葵の家族のようだと感じた。ご主人や奥様、また娘さん達も何事にも協力し、そして忍耐強い絆の向日葵の如く串間を愛し地域発展のため頑張つてください。福岡よ

り祈っています。



『よくやつた』福高球児

●百野達夫さん

7月9日より熱戦を繰り広げた夏の甲子園宮崎大会。聖

地甲子園を目指し、汗と泥にまみれ厳しい練習に耐えてきた福高球児たち。一丸となつて全力で立ち向かい三回戦進出の快挙。串間市民を大喜びさせた。

初戦は、都農本庄と対戦。福高は2年生が大活躍。八回からマウンドを任せられた堀口

は、変化球で相手打線を封じ込み、延長十回には自らのバットで決勝点。5対3で初戦突破。こぼれる嬉し声で校歌を歌つた。

2回戦は、高千穂と対戦。

清水さんの「家族の絆」、写真からも向日葵のよかむん味だよりが、すてきなご家族だろうなと伝わってきます。今、家族のことがたみを感じたいですね。

のだんらんの時間も減つてきている中、家族が協力し合えるのは大切なことです。毎日を向日葵のよかむん味で過ごし、家族のことがたみを感じたいですね。

福高が1点を争う接戦を制した。1-2の5回2死二、三塁から河野の内野安打で逆転。今西の河野の継投で4対3と逃げ切った。校歌がはずんだ。3回戦は、シードの鵬翔と対戦。鵬翔は初回から4得点。中盤も加点し九回にダメを押した。福高は六回に安永らの5連打で3得点。八回には安永がソロホームランを放ち意地を見せたが、及ばず4対12で涙をのんだ。

来年は頑張って甲子園で福永がソロホームランを放ち意地を見せたが、及ばず4対12で涙をのんだ。

</div



秋の訪れを告げるパンパスマグラス
大東・揚原交差点付近にて

うたばよみ

【短歌】串間短歌会選

一畝のオクラ高低差のありて

互いに負けじと角をつき出す

有明一区 長岡アイ子

ひたすらに命養う日びながら

短歌生まれむ今日を楽しむ

上中園 鍋倉 文子

夏休み満室なれど部屋を空け

まあるい月を座敷へ招く

上小路 吉開 美穂

茄子ゴーヤバジルにオクラピーマンと

畑の命を天プラにする

西浜 河野ヨシ子

緩みたる手つ甲のゴム入れ替へて

農作業の始動に備ふ

霧島 清水しづ子

*短歌、俳句の投稿は

■短歌 野辺俊子さん(0772-33300)

■俳句 本田幾男さん(0772-152880)

【俳句】ねむの俳句会選

黄昏は人恋しくも秋なれば

越ヶ谷 白石 方子

古里へ帰る知らせや盆の月

串間 島田ミネ子

花火果つ闇深まるや蠍の座

仲町 矢野 欽子

過ぎし日の過ぎし言葉や夏終る

寺里 谷口 秀子

子供らの舞台はいつも片陰に

鍛治屋 森本 慶典